

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	道路台帳整備事業			
予算科目	8 款 2 項 1 目			
総合計画での位置付け	都市基盤の整備 道路・交通基盤の整備			
所管課情報	担当課: 土木管理課		電話番号(内線): 594	
記入者情報	所属長: 木曾 信之		担当責任者: 出本 宗一	
実施期間	【開始年度】 平成 18 年度 【開始年度】 設定なし			
事業の対象	利用者			

事業の目的	道路台帳は、道路名や道路幅員を含む道路行政の基礎的資料であり、台帳整備は、常に最新の状態を維持し、業務の効率化及び閲覧者の利便性を図る。
事業の内容	市道の道路網図、図面、台帳調書等の形状変化に伴うデータ更新。
改善策の 具体的 取り組み (当初)	台帳のデータ化を進めていく。
改善策の 具体的 取り組み	

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	7,398	6,254	0	6,184
	人件費	813	795	0	795
	合計	0	7,049	0	6,979
人件費 内訳	人工数	0.10	0.10	0.00	0.10
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	813	795	0	795
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	8,211	7,049	0	6,979

成果指標				
成果指標	整備延長(km)			
指標設定の考え方	成果指標を設定するのは困難であるため整備延長とする。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標29年度
目 標	5.00km	5.00km	0	0
実 績	4.57km	3.16km	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	新規認定路線や改良区間の台帳作成を速やかに行える体制が必要である。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	工事台帳を作成しているので、次年度に道路台帳修正が必要であるかの欄を設けて、工事担当者が記載するようにすれば、一目瞭然で〇〇路線の修正が必要であると認識できる。今後の道路維持(橋、トンネル、構造物、舗装、附属物)管理には欠かせない事業である。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題